

歴史 の風

ふくおか 文化財だより

Vol.9 2017年6月号

こういん めい た ち

伝統技術で甦った「庚寅銘大刀」

ひ ご そ う

～ 庚寅銘大刀 × 肥後象がん ～



実物(上) と復元品(下)

庚寅銘大刀は、平成23年に
もとおか
西区の元岡G-6号墳で出土した
鉄の大刀で、製作年代を示すと
きんぞう
思われる19文字の金象がんが発

見され大きな話題になりました。

この度、古墳時代当時の姿を再現するために、復元品を製作しました。

復元の肝となる金象がん部分は、熊本に伝わる伝統工芸、「肥後象がん」の職人である稲田憲太郎氏に、製作を依頼しました。その高い技術によって見事に当時の輝きが再現され、非常に価値のある復元品となりました。

庚寅銘大刀と復元品は、**6月25日**
まで埋蔵文化財センターで、7月11
日～9月24日まで熊本伝統工芸館
で展示します。古代と現代の職人技を
ぜひご覧ください！



象がん部分の拡大
実物(左)と復元品(右)

「象がん」とは

鉄に金や銀の金属をはめ込んで文様などを表現する技法のことを言います。熊本県では、江戸時代に、藩主細川家の保護をうけて刀装具などがつくられていました。



コウコ

(埋蔵文化財センター
キャラクター)

→ 市民講座『こうろかん鴻臚館学』入門 開催中

～ 鴻臚館発掘30周年記念！～

鴻臚館跡の発掘調査は、1987年の旧平和台野球場での最初の発掘から今年で30周年を迎えます。今年はこれを記念して、鴻臚館を舞台に行われた古代の国際交流の歴史とそこで育まれた文化を学ぶ、市民講座『鴻臚館学』入門を全4回にわたって開催いたします。

5月27日に開催された講座第1回目は、重松敏彦氏（『新修福岡市史』古代専門部会長）を講師に迎え、「文献史学から見た鴻臚館」をテーマに、主に平



第1回講座の様子

安時代の文献に記録された鴻臚館についてご講演いただきました。

第2回以降は、仏教史、美術史、考古学などのさまざまな観点から、国際交流都市福岡の原点となった鴻臚館について、多角的に掘り下げていく予定です。講座の日時、場所、申込み方法は、「福岡市政だより」や「福岡市の文化財HP」に掲載されます。皆様のご応募お待ちしております！

【お問い合わせ先】

福岡市経済観光文化局 史跡整備活用課

TEL：092－711－4784

福岡市の文化財HP <http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>



→ 山を^{あが}崇めた古代の心

～ここにも遺跡！～ ^{いいもりやま}飯盛山（西区飯盛）

飯盛山は福岡市西部の標高382mの山で、その名の通り、ご飯を盛り上げたような形がたいへん特徴的な山です。

山の周辺には、古くから人々が家や水田を営み、生活の場としていました。また、墓や祭祀を行った遺跡も残され、吉^{さいし}武^{いせき}高木^{よし}遺跡では弥生時代の「王墓」が、また、古墳時代には山麓に多数の古墳がつくられました。

この飯盛山の山頂から大正13年に平安時代の瓦経（粘土板にお経を刻んだもの）が大量に発見され、平安時代には飯盛山が仏教の祈りの場であったことがわかりました。昔から人々はこの山を崇拝の対象としたり、あるいは山中で祭祀を行ったりしていたのです。

トレッキングに人気の飯盛山ですが、ふもとにある最近オープンしたやよいの風公園から山を仰いでみれば、青空の下で鮮やかな緑をまとう



やよいの風公園からみた飯盛山

姿や、夕焼けに映える山の形は大変美しく、ここから飯盛山を崇めていた昔の人の心を感じることができそうです。

国史跡吉武高木遺跡「やよいの風公園」について

場所：西区大字吉武（西部運動公園から南へ約600m）

開園時間：9時～17時 年中無休 入園料：無料

駐車場：40台（大型バス駐車の場合は事前連絡が必要）

問い合わせ先：福岡市文化財保護課 TEL092-711-4666

→ 水を得るには…

博多区 ^{な か}那珂遺跡群



井戸を発掘する様子
深いので大変！

福岡が^{な こ く}「奴国」と呼ばれていた

2000年前、その中心地だった
^{ひ え}のが比恵遺跡群と那珂遺跡群で
す。現在の博多駅南から東光寺、那
珂一帯にかけて弥生時代の大集落が
広がっていました。

今回は、那珂小学校の校庭で発
掘調査を行いました。この一帯は奴国の
中心地。調査担当者も緊張して現場に
臨んだのですが、見つかったのは弥生時代から
鎌倉・室町時代にかけての井戸、井戸、井
戸…。たくさんの井戸が集中して見つかったので
す。大きなものは直径3m以上もありました。

水は生活になくてはならないもの。この場所が
昔から水が出る場所として代々伝えられ、
井戸が繰り返し掘られたのでしょう。

このすぐ横には、古い井戸が災害時用
として現在も利用されています。昔から
伝えられた水を得る知恵が、このよう
な形で現在に活かされていることが
わかりました。

※ 発掘調査は終了し、遺跡はすでに埋め戻されています。
出土品は、整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行
したのちに埋蔵文化財センターに収められ、閲覧や展示
に活用されます。

→ ^{かねのくま} ^{かめかん} **金隈遺跡甕棺展示館**
^{のかた} **野方遺跡住居跡展示館**

リニューアル中！

金隈遺跡甕棺展示館（博多区金の隈1）と野方遺跡住居跡展示館（西区野方5）は、ともに開館してから25年以上がたちました。このため、平成29年5月から休館し、保存処理や展示物の更新等を行うことになりました。

リニューアル作業は約2年間にわたって行い、平成31年4月に再オープンする予定です。リニューアル作業の詳細については、随時、ウェブサイト「福岡市の文化財」でお知らせしていきます。リニューアル後の両展示館に、どうぞご期待ください！

なお、展示館の休館中も、遺跡公園の利用は可能です。ただし、金隈遺跡については、土・日曜日の9時から17時のみの開園となりますので、ご注意ください。



金隈遺跡甕棺展示館の
展示状況



シカさん
（埋蔵文化財センター
キャラクター）

たまちゃん
（埋蔵文化財センター
キャラクター）



野方遺跡住居跡展示館の
展示状況



→ 7月のイベント情報

1～15日 国指定無形民俗文化財 博多祇園山笠行事

場所：櫛田神社境内ほか周辺

(博多区上川端1-41)

8日 市指定無形民俗文化財 田島神楽

場所：田島八幡神社（城南区田島4-6-39）



田島神楽の様子

15・16日 市指定無形民俗文化財

元岡祇園ばやし・元岡獅子舞

場所：八坂神社境内ほか周辺

(西区元岡1599)

29日 第2回埋蔵文化財センター考古学講座

「考古学からみる中世都市博多」

13:30～15:30, 先着200名, 入場無料

講師：鈴木康之氏（県立広島大学大学院）

場所：福岡市埋蔵文化財センター講座室

福岡市経済観光文化局文化財部

住所：福岡市中央区天神 1-8-1

TEL: 092-711-4666 FAX: 092-733-5537

文化財の調査・指定・活用・管理に関すること

文化財保護課 TEL:092-711-4666

史跡の整備・活用に関すること

史跡整備活用課 TEL:092-711-4784

埋蔵文化財の発掘調査・手続きに関すること

埋蔵文化財課 TEL:092-711-4667

埋蔵文化財センターに関すること

埋蔵文化財センター TEL:092-571-2921

ホームページ 福岡市の文化財

<http://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/>

Facebook「福岡市の文化財」でも情報発信中！

